

令和7年度 学校評価 自己評価表（最終評価）

令和8年2月16日現在

安芸太田町立加計中学校

学校教育目標	高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成	めざす生徒像	・互いのよさや違いを認め合い、共に伸びる生徒 ・人のためになる行動ができる生徒 ・学びを生かし、他者と協力し、目標に向かって挑戦し続ける生徒
--------	----------------------------	--------	--

中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための具体的方策	評価指標	目標値	中間達成値	中間達成度	中間評価	最終達成値	最終達成度	最終評価	○成果 ●課題
「高い志」の基盤となる広い視野を持つために	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 基盤となる基礎学力の定着 ICT環境の積極的活用 	・生活習慣（起床・就寝、学習開始時刻：3点固定）の確立	・3点固定ができている生徒の割合	80	65.8	82	1	58.3	73	1	●最も肯定的な回答をした生徒の割合は約11%と中間報告時の約5.3%から上昇傾向にある。 ○期間を決めた取組を実施することで、3点固定への意識が向上した。 ○毎トレノートや継続ノートなど、多くの生徒が丁寧に取り組んでいる。 ○学習タイムで、eライブラリによる学習が家庭学習につながっている様子は見られた。 ●家庭学習の質を高めていく必要を感じる。
		・家庭学習の習慣化と自主学習ノート（継続ノート）の内容充実（学習時間週10時間以上、毎日60分以上）	・家庭学習に主体的に取り組む生徒の割合	80	42.1	53		63.9	80		
		・課題解決に向けて順序だてて見通す力の育成と変容の見取り	・「標準学力調査」の分析による個人スコアの向上	80	—	—		27.2	34		
		・教科指導におけるICT活用（学習の見取りと振り返り）	・見取りにICTを効果的に活用した職員の割合	90	100	111		90.0	100		
	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の実践 グローバル・マインドの育成 	・協調学習（主体的・対話的で深い学び）の充実	・「自分の意見を表現できる」自己評価の肯定的割合	80	71.1	89	3	66.6	83	3	○中間に比べ数値の低下は見られるが、協調学習や各教科の取組による効果は大きい。今後も主体的・対話的で深い学びになるよう、実践を続けていく。 ●肯定的な回答をした生徒の割合は、中間報告時より約3%減。総合的な学習の時間における資質・能力について、俯瞰的に自己の学びを評価することができたことが要因と考える。
		・「学びに向かう力・人間性等」の重点的指導	・「資質・能力」の自己評価の肯定的割合	85	81.6	96		77.8	92		
地域に貢献するために	<ul style="list-style-type: none"> 就学前から高校までの連携教育 地域との連携 防災、防犯教育を通じた地域連携 	・保育所、こども園、小学校との交流活動及び連携（協調学習、学校行事、生徒指導等）	・加計小との連携行事～後輩を育てようとする肯定的割合	90	—	—	3	100	111	4	○小中連携の一貫として12月22日に小6体験入学を実施。2年生が中心となり、実際の中学校生活の紹介や一緒に部活動体験を行った。また、数学科が小学校乗り入れ授業を行うなど、連携教育を推進している。 ○2月6日（金）に行われた、「加計高発！探究活動発表会」では、商品開発や空き家の活用、国際交流など、加計高校の取組について興味関心を深めることができた。また、これからの総合的な学習の時間の取組に活かしていきたいと答える生徒も多く、生徒の学びにつながった。
		・加計高校との連携型中高一貫教育（合同学校行事、進路指導、キャリア教育等）	・加計高校との連携行事～加計高生の良さを認める肯定的割合	90	86.6	96		91.7	102		
		・地域や関係機関との連携による地域貢献活動の実践（地域と連携した活動を年10回以上実施）	・地域に貢献する活動～自己有用感の向上肯定的割合	90	92.3	103		92.3	103		
主体的に生きるために	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的活動の充実 生徒会活動の充実 キャリア教育の充実 健康教育の充実、体力づくり 	・「加計中六訓」と「無言掃除」の実践	・無言掃除の充実感	90	84.2	94	1	86.1	96	2	○「加計中六訓」を意識した取組を継続。生徒主体で取り組む姿が見られる。 ●「加計中六訓」学期ごとで重点的に取り組むことなどができていない。 ○環境委員会の取組で、「模範となる清掃」を表彰した。無言清掃だけでなく、自分たちで清掃活動をよりよくする姿が見られる。
		・生徒指導の4視点による行事や体験活動の充実	・学校行事や体験活動後の生徒アンケートの満足度や達成度等の割合	90	90.0	100		91.4	102		
		・中高連携教育の推進（オープンスクール、進路説明会）	・加計高校からの進路に係る情報提供の満足度	90	77.8	86		100	111		
		・健康で安全な生活を送るための指導の充実（外部講師を年5回以上招聘）	・外部講師、機関と連携した学習で理解できた生徒	90	95.0	106		87.3	97		
		・体育的行事や部活動の内容の工夫	・体力テストの結果の向上（総合得点が昨年以上の生徒） 1月：前回の数値以上の記録項目数	80	23.8	30		47.8	60		
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 職員のウェルビーイングと働きがいのある職場づくり 	・教職員の学びの環境づくり（芸北支所学校文化アンケート項目の意識化）	・学校文化アンケート結果の改善（17項目中10項目以上）（校内毎学期実施）	90	90.0	100	3	80.0	89	3	●管内比較から、学校目標の意識、教員間の交流と授業改善、業務改善を向上させたい。 ●ライフワークバランスのアンケート肯定的回答率66.7%（昨年度81.8%）。成績締切、進路関係の影響で低下と考えている。働きがい（やりがいと充実感）の肯定的回答低下の原因でもあると考える。（昨年度81.8%）
		・校務DXの推進	・職員の働きがい 肯定的割合（90%）		84.6	94		80.0	89		

※達成度(%)=達成値÷目標値×100 ※評価 4:100%以上(目標以上達成できている) 3:80%以上(目標を概ね達成できている) 2:60%以上(目標をやや達成できていない) 1:60%未満(目標を達成できていない) [項目の最低値で評価する]